

但馬管内の景気動向調査

2022年7～9月期実績・2022年10～12月期見通し

調査の概要

1. 回答数: 405 (前回: 473)
 2. 調査時点 2022年9月上旬
 3. 当金庫 営業店の調査員による、共通の調査表に基づく聴取り調査
 4. 分析方法: ディフュージョン・インデックス(D.I.)
景気の各項目事項について、「増加」(良い)―「減少」(悪い)の構成比の差＝
判断 D.I.に基づく分析
- ※全国とは、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が全国各地の信用金庫から調査した調査の結果を示している。



但馬信用金庫

1. 概況（回答数404 前回405）

今回(2022年7～9期)の業況D.I.は△18.0となり、全国△19.9を上回った。業種別では、卸売業を除く5業種で改善した。前四半期比では6.4ポイントとなり、2期連続での改善であった。その他の項目についても借入金の難易度D.I.を除く5項目で前四半期と比較して改善が見られた。次回(2022年10～12月期)の業況D.I.は△7.7と、小幅ながら改善が予想されている。

全体	2022年7～9月期実績	前四半期比	2022年10～12月期予想
業況D.I.	△ 18.0	6.4	△ 7.7
前年同期比売上額D.I.	14.1	4.0	-
前年同期比収益D.I.	4.2	3.6	-
売上額D.I.	△ 1.5	4.9	2.2
収益D.I.	△ 6.9	5.1	△ 4.5
資金繰りD.I.	△ 15.2	2.4	△ 12.7
借入金の難易度D.I.	△ 9.2	△ 1.2	-
前期比残業時間D.I.	△ 0.2	2.7	1.2
人手過不足D.I.	△ 16.6	1.0	△ 18.9

業種名 \ 時期	2022年 4月～6月	2022年 7月～9月	2022年 10月～12月(見通し)
総合			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調



2. 製造業（回答数 73 前回 75）

今回(2022年7～9期)の業況D.I.は△13.5となり 四半期比 5.2ポイントの改善となった。

原材料価格D.I.が71.2であり、前四半期比で13.9ポイント上昇した。売上額D.I.・原材料価格D.I.はともに上昇し価格転嫁が予想される結果となった。

次回(2022年10～12期)の業況D.I.は2.7と改善が予想される。

製造業	2022年7～9月期実績	前四半期比	2022年10～12月期予想
業況D.I.	△ 13.5	5.2	2.7
前年同期比売上額D.I.	13.7	△ 13.0	-
前年同期比収益D.I.	△ 2.7	△ 4.1	-
売上額D.I.	△ 1.4	4.0	9.5
受注残D.I.	△ 1.4	7.9	2.7
収益D.I.	△ 8.2	21.1	0.0
販売価格D.I.	26.0	2.0	27.4
原材料価格D.I.	71.2	13.9	61.6
原材料在庫D.I.	△ 4.1	△ 6.8	△ 5.5
資金繰りD.I.	△ 8.2	13.1	△ 8.2
借入金の難易度D.I.	△ 9.5	△ 4.1	-
前期比残業時間D.I.	2.7	12.0	6.8
人手過不足D.I.	△ 20.3	7.7	△ 23.0
現在の設備D.I.	△ 9.6	10.4	-
設備投資D.I.	17.6	△ 5.1	-
来期設備投資D.I.	20.3	△ 5.1	-

3. 建設業（回答数 81 前回 98）

今回(2022年7～9期)の業況D.I.は△4.9。前四半期比 4.3ポイントの改善となった。

今回の材料価格D.I.は69.1であり、依然として材料価格は高止まっている。受注残D.I.が14.9ポイント増加となり、在庫D.I.については4.8ポイント減少した。

次回(2022年10～12期)の業況D.I.は、△4.9となり、今回同様にマイナス水準が予想されている。

建設業	2022年7～9月期実績	前四半期比	2022年10～12月期予想
業況D.I.	△ 4.9	4.3	△ 4.9
前年同期比売上額D.I.	1.3	0.2	-
前年同期比収益D.I.	△ 8.8	△ 8.8	-
売上額D.I.	△ 4.9	2.3	0.0
受注残D.I.	3.7	14.9	△ 9.8
施工高D.I.	△ 1.2	△ 2.2	△ 3.7
収益D.I.	△ 7.3	3.9	△ 13.4
請負価格D.I.	6.1	△ 8.2	13.4
材料価格D.I.	69.1	△ 4.3	61.7
在庫D.I.	△ 10.0	△ 4.8	△ 7.5
資金繰りD.I.	△ 7.4	0.8	△ 8.6
借入金の難易度D.I.	△ 4.9	3.5	-
前期比残業時間D.I.	1.2	1.2	△ 3.7
人手過不足D.I.	△ 24.7	△ 2.8	△ 22.2
現在の設備D.I.	△ 7.3	4.9	-
設備投資D.I.	18.3	△ 6.2	-
来期設備投資D.I.	18.3	△ 5.2	-

4. 卸売業（回答数 48 前回 56）

今回(2022年7～9期)の業況D.I.が△22.4となり、前四半期比ではほぼ変化は見られなかった。

売上額D.I.が6.1ポイントと前四半期比2.6ポイント上昇したが収益D.I.は前四半期比△7.7ポイント、仕入価格D.I.は前四半期比+13.3ポイントと、仕入価格の上昇に対し、価格転嫁が実施できていないことが予想される結果となった。

次回(2022年10～12期)の業況D.I.は△30.6と悪化予想。仕入価格D.I.は46.9と、仕入価格の上昇は少し落ち着く見通しとなっている。

卸売業	2022年7～9月期実績	前四半期比	2022年10～12月期予想
業況D.I.	△ 22.4	△ 1.0	△ 30.6
前年同期比売上額D.I.	18.4	9.4	-
前年同期比収益D.I.	4.1	4.1	-
前年同期比販売価格D.I.	36.7	1.0	-
売上額D.I.	6.1	2.6	△ 14.3
収益D.I.	△ 4.1	△ 7.7	△ 16.7
販売価格D.I.	36.7	9.9	30.6
仕入価格D.I.	63.3	13.3	46.9
在庫D.I.	2.0	2.0	0.0
資金繰りD.I.	△ 18.4	△ 2.3	△ 22.4
借入金の難易度D.I.	△ 12.5	△ 3.2	-
前期比残業時間D.I.	2.0	5.7	6.1
人手過不足D.I.	△ 8.2	10.4	△ 12.2
現在の設備D.I.	△ 22.4	△ 9.7	-
設備投資D.I.	10.2	△ 11.2	-
来期設備投資D.I.	12.2	△ 11.0	-

5. 小売業（回答数 63 前回 77）

今回(2022年7～9期)の業況D.I.は△37.5と前四半期比5.4ポイントの改善。3期連続での改善となった。

仕入価格D.I.は60.9と依然高い水準にあるが、収益D.I.は前四半期比9.3ポイント上昇しており、販売価格への転嫁が予想される結果となった。

次回(2022年10～12期)の業況D.I.は△26.6であり、改善予想となっている。

小売業	2022年7～9月期実績	前四半期比	2022年10～12月期予想
業況D.I.	△ 37.5	5.4	△ 26.6
前年同期比売上額D.I.	△ 7.8	△ 2.6	-
前年同期比収益D.I.	△ 12.5	3.1	-
前年同期比販売価格D.I.	43.8	4.8	-
売上額D.I.	△ 12.5	4.6	△ 10.9
収益D.I.	△ 14.1	9.3	△ 7.8
販売価格D.I.	35.9	7.4	42.2
仕入価格D.I.	60.9	19.4	54.7
在庫D.I.	10.9	3.1	3.1
資金繰りD.I.	△ 25.4	△ 0.7	△ 19.4
借入金の難易度D.I.	△ 15.6	△ 5.2	-
前期比残業時間D.I.	△ 6.3	0.1	0.0
人手過不足D.I.	△ 17.7	4.6	△ 17.7
現在の設備D.I.	△ 14.3	△ 3.9	-
設備投資D.I.	21.9	5.0	-
来期設備投資D.I.	21.9	△ 0.2	-

6. 不動産業（回答数 7 前回 14）

今回(2022年7～9期)の業況D.I.は0.0ポイントとなっており、前四半期比で28.6ポイントの改善となった。

在庫D.I.は慢性的な在庫不足感があったが、2020年1～3期以来2年振りにプラスに転じた。

次回(2022年10～12期)の業況D.I.も0.0ポイントとなっており、横ばいで推移することが予想されている。

不動産業	2022年7～9期実績	前四半期比	2022年10～12期予想
業況D.I.	0.0	28.6	0.0
前年同期比売上額D.I.	12.5	△ 2.9	-
前年同期比収益D.I.	12.5	4.8	-
売上額D.I.	12.5	5.4	0.0
収益D.I.	12.5	12.5	0.0
販売価格D.I.	0.0	0.0	0.0
仕入価格D.I.	12.5	5.4	12.5
在庫D.I.	0.0	14.3	0.0
資金繰りD.I.	0.0	0.0	0.0
借入金の難易度D.I.	0.0	7.1	-
前期比残業時間D.I.	12.5	5.4	12.5
人手過不足D.I.	0.0	7.1	0.0

7. サービス業（回答数 132 前回 153）

今回(2022年7～9期)の業況D.I.は△18.6と前四半期比9.7ポイントの改善と、3期続けての改善となった。

材料価格D.I.が前四半期比7.9ポイント上昇となったが、売上D.I.が前四半期比8.2ポイント、料金価格D.I.が前四半期比15.3ポイントとそれぞれが改善傾向にあった。

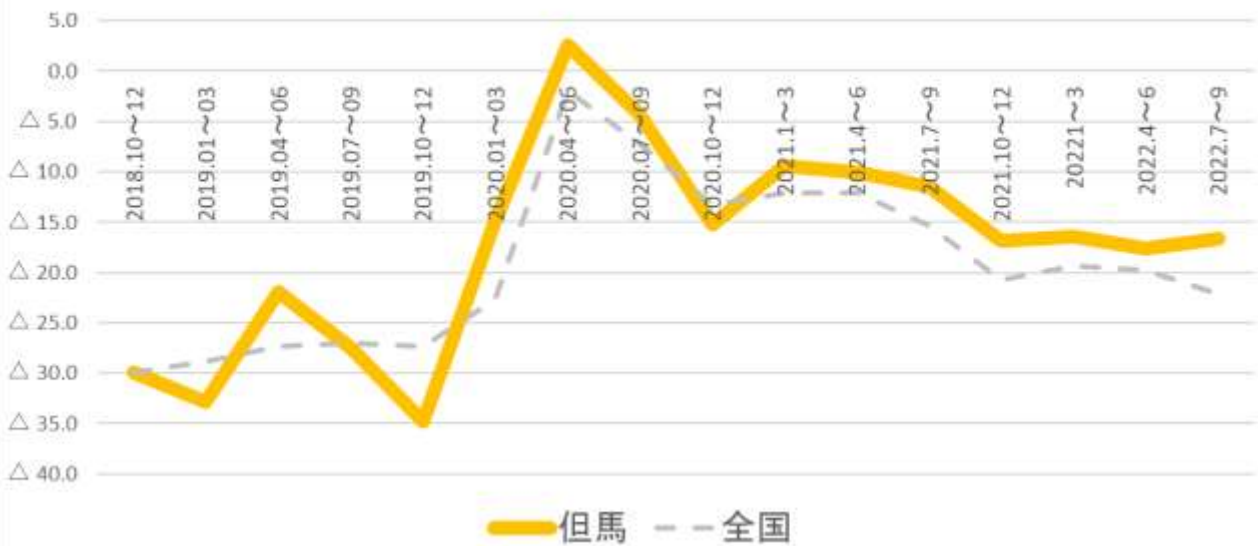
次回(2022年10～12期)の業況D.I.は2.3と今回に続き大きく改善することが予想されている。

サービス業	2022年7～9期実績	前四半期比	2022年10～12期予想
業況D.I.	△ 18.6	9.7	2.3
前年同期比売上額D.I.	31.8	16.1	-
前年同期比収益D.I.	24.0	15.5	-
売上額D.I.	2.3	8.2	12.5
収益D.I.	△ 4.7	0.6	4.7
料金価格D.I.	22.5	15.3	25.6
材料価格D.I.	58.9	7.9	45.0
資金繰りD.I.	△ 18.8	2.2	△ 11.7
借入金の難易度D.I.	△ 7.8	△ 0.5	-
前期比残業時間D.I.	△ 1.6	△ 0.9	△ 0.8
人手過不足D.I.	△ 13.2	△ 5.2	△ 18.6
現在の設備D.I.	△ 16.4	6.0	-
設備投資D.I.	15.5	△ 10.0	-
来期設備投資D.I.	24.0	△ 8.0	-

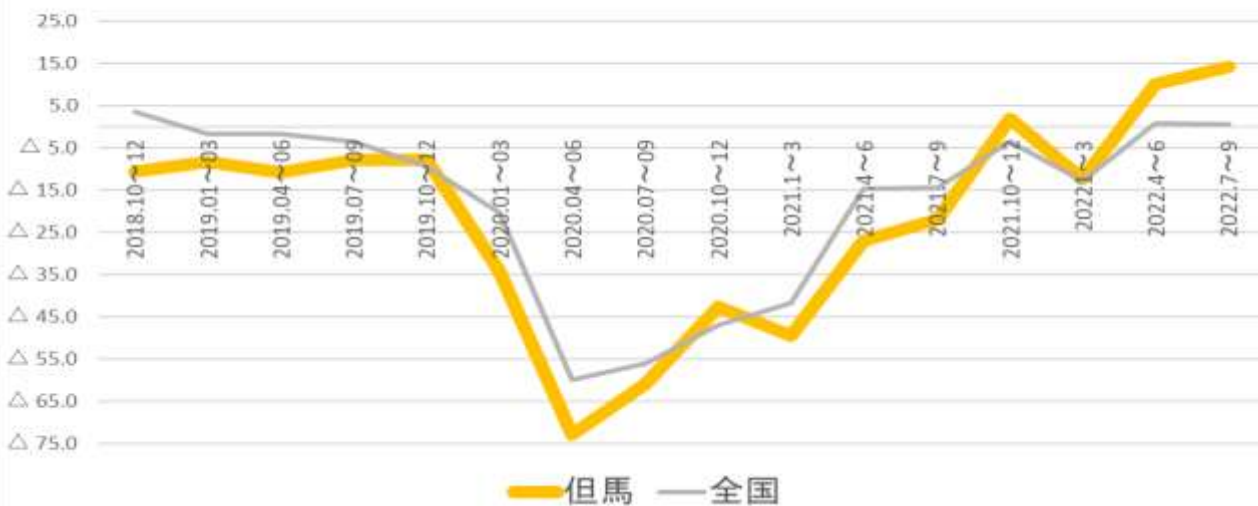
資金繰りD. I.



人手過不足D. I.



前年同期売上額D. I.



業種別 D I 等の推移表

製造業	前年同期に比べた														
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	収益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実績割合
2020.10~12	△ 43.2	△ 47.7	△ 46.6	△ 16.1	△ 11.4	△ 17.2	6.8	26.1	11.4	△ 21.6	△ 26.1	△ 9.1	2.3	△ 12.5	22.7
2021.1~3	△ 45.6	△ 49.4	△ 50.6	△ 44.4	△ 38.2	△ 46.1	△ 3.4	21.3	△ 1.1	△ 18.0	△ 23.6	△ 9.0	△ 1.1	△ 20.2	26.7
2021.4~6	△ 49.4	△ 20.5	△ 20.7	△ 33.7	△ 36.1	△ 37.3	1.2	38.6	2.4	△ 15.7	△ 15.7	△ 12.2	△ 8.5	△ 15.7	33.7
2021.7~9	△ 46.9	△ 13.4	△ 20.7	△ 24.1	△ 26.5	△ 34.9	6.0	48.2	1.2	△ 20.5	△ 8.4	△ 22.9	△ 9.8	△ 28.4	26.5
2021.10~12	△ 17.9	2.4	4.8	20.2	17.9	15.5	19.0	52.4	1.2	△ 19.0	8.3	△ 21.4	△ 4.8	△ 17.9	22.6
2022.1~3	△ 28.6	6.0	△ 8.3	△ 1.2	△ 2.4	△ 22.6	21.4	56.0	0.0	△ 19.0	1.2	△ 26.5	△ 7.3	△ 16.7	26.2
2022.4~6	△ 18.7	26.7	1.3	△ 5.3	△ 9.3	△ 29.3	24.0	57.3	2.7	△ 21.3	△ 9.3	△ 28.0	△ 5.4	△ 20.0	22.7
2022.7~9	△ 13.5	13.7	△ 2.7	△ 1.4	△ 1.4	△ 8.2	26.0	71.2	△ 4.1	△ 8.2	2.7	△ 20.3	△ 9.5	△ 9.6	17.6
2022.10~12	2.7														

建設業	前年同期に比べた															
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	施行高	収益	積立価格	材料価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実績割合
2020.10~12	△ 35.3	△ 43.0	△ 41.9	△ 25.6	△ 31.8	△ 29.1	△ 29.1	△ 4.7	10.5	0.0	△ 17.4	△ 10.6	△ 15.7	△ 4.8	△ 4.7	27.9
2021.1~3	△ 14.6	△ 22.0	△ 14.6	△ 15.9	△ 12.2	△ 7.3	△ 8.5	△ 4.9	8.5	0.0	△ 13.4	△ 4.8	△ 25.3	△ 6.2	△ 13.3	27.7
2021.4~6	△ 23.0	△ 10.5	△ 10.5	△ 11.5	△ 18.4	△ 12.6	△ 16.1	△ 11.5	27.6	0.0	0.0	△ 6.9	△ 22.6	△ 4.7	△ 12.6	24.1
2021.7~9	△ 16.8	△ 5.3	△ 7.4	△ 4.2	△ 2.1	△ 3.2	△ 8.4	△ 6.3	27.4	△ 2.1	△ 15.8	0.0	△ 14.1	△ 7.7	△ 16.0	24.2
2021.10~12	4.4	5.4	△ 3.3	5.4	1.1	3.3	△ 1.1	7.6	35.9	△ 4.3	△ 4.3	△ 2.2	△ 17.6	△ 4.4	△ 15.2	27.2
R4.1~3	△ 15.9	△ 6.8	△ 17.0	△ 15.9	△ 12.5	△ 15.9	△ 21.6	2.3	54.5	△ 2.3	△ 10.2	△ 4.6	△ 30.1	0.0	△ 6.9	22.7
R4.4~6	△ 9.3	1.0	0.0	△ 7.1	△ 11.2	1.0	△ 11.2	14.3	73.5	△ 5.2	△ 8.2	0.0	△ 21.9	△ 8.4	△ 12.2	24.5
R4.7~9	△ 4.9	1.3	△ 8.8	△ 4.9	3.7	△ 1.2	△ 7.3	6.1	69.1	△ 10.0	△ 7.4	1.2	△ 24.7	△ 4.9	△ 7.3	18.3
R4.10~12	△ 4.9															

卸売業	前年同期に比べた														
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実績割合
2020.10~12	△ 63.5	△ 63.5	△ 61.5	0.0	△ 19.2	△ 21.2	△ 1.9	11.5	13.5	△ 28.8	△ 21.2	△ 17.3	△ 19.6	△ 15.4	25.0
2021.1~3	△ 59.2	△ 59.2	△ 63.3	△ 10.2	△ 49.0	△ 46.9	△ 12.2	△ 2.0	14.3	△ 26.5	△ 24.5	△ 10.4	△ 8.5	△ 20.4	38.8
2021.4~6	△ 56.0	△ 30.0	△ 34.0	△ 16.0	△ 38.0	△ 38.0	△ 16.0	6.0	8.0	△ 18.4	△ 22.0	△ 4.0	△ 10.2	△ 8.0	28.0
2021.7~9	△ 44.4	△ 5.6	△ 18.5	16.7	△ 11.1	△ 24.1	7.4	22.2	1.9	△ 20.8	△ 20.4	△ 9.4	△ 13.0	△ 11.1	20.4
2021.10~12	△ 16.4	14.5	10.9	27.3	△ 13.0	△ 11.1	20.4	35.2	1.9	△ 17.0	0.0	△ 14.5	△ 12.7	△ 3.6	23.6
2022.1~3	△ 35.8	△ 11.5	△ 19.2	34.6	△ 32.1	△ 37.7	17.0	49.1	5.7	△ 13.2	△ 11.3	△ 13.5	△ 9.4	△ 11.3	26.4
2022.4~6	△ 21.4	8.9	0.0	35.7	3.6	3.6	26.8	50.0	0.0	△ 16.1	△ 3.6	△ 18.5	△ 9.3	△ 12.7	21.4
2022.7~9	△ 22.4	18.4	4.1	36.7	6.1	△ 4.1	36.7	63.3	2.0	△ 18.4	2.0	△ 8.2	△ 12.5	△ 22.4	10.2
2022.10~12	△ 30.6														

小売業	前年同期に比べた														
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実績割合
2020.10~12	△ 41.9	△ 47.9	△ 45.2	△ 2.7	△ 8.1	△ 16.2	1.4	9.5	6.8	△ 21.6	△ 16.2	△ 12.5	△ 19.2	△ 6.8	33.8
2021.1~3	△ 63.5	△ 64.0	△ 52.0	△ 6.7	△ 48.0	△ 44.0	2.7	9.3	4.0	△ 28.0	△ 16.0	1.3	△ 23.0	△ 12.2	18.7
2021.4~6	△ 51.9	△ 26.6	△ 24.1	1.3	△ 45.6	△ 41.8	△ 1.3	10.1	1.3	△ 24.1	△ 16.5	△ 3.8	△ 20.3	△ 13.9	16.5
2021.7~9	△ 46.6	△ 36.5	△ 32.4	4.1	△ 31.1	△ 33.8	5.4	16.2	2.7	△ 24.3	△ 15.1	△ 5.5	△ 17.8	△ 13.5	13.5
2021.10~12	△ 35.6	△ 14.9	△ 13.5	13.5	0.0	△ 1.4	18.9	27.0	△ 1.4	△ 18.9	△ 4.1	△ 13.5	△ 15.1	△ 12.3	17.6
2022.1~3	△ 57.5	△ 28.0	△ 42.7	25.3	△ 26.7	△ 44.0	25.3	44.0	△ 2.7	△ 28.0	△ 10.7	△ 13.5	△ 12.2	△ 13.3	18.7
2022.4~6	△ 42.9	△ 5.2	△ 15.6	39.0	△ 17.1	△ 23.4	28.6	41.6	7.8	△ 24.7	△ 6.5	△ 22.4	△ 10.4	△ 10.4	16.9
2022.7~9	△ 37.5	△ 7.8	△ 12.5	43.8	△ 12.5	△ 14.1	35.9	60.9	10.9	△ 25.4	△ 6.3	△ 17.7	△ 15.6	△ 14.3	21.9
2022.10~12	△ 26.6														

サービス業	前年同期に比べた														
	業況	売上額	収益	売上額	収益	料金価格	材料価格	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実績割合		
2020.10~12	△ 22.2	△ 29.9	△ 30.1	△ 5.6	△ 7.0	11.1	18.8	△ 23.6	△ 10.4	△ 19.4	△ 8.5	△ 22.2	20.8		
2021.1~3	△ 59.9	△ 55.6	△ 53.0	△ 48.7	△ 47.4	△ 4.6	2.0	△ 37.5	△ 19.7	△ 6.6	△ 8.8	△ 17.9	18.4		
2021.4~6	△ 52.6	△ 39.5	△ 41.4	△ 51.3	△ 50.7	△ 10.5	3.3	△ 30.9	△ 21.7	△ 7.3	△ 11.2	△ 22.4	23.7		
2021.7~9	△ 52.7	△ 33.1	△ 34.5	△ 28.8	△ 28.1	0.7	11.0	△ 27.4	△ 11.0	△ 7.7	△ 9.7	△ 24.7	19.9		
2021.10~12	△ 4.1	8.3	0.0	31.0	22.8	21.4	34.5	△ 10.3	6.3	△ 18.1	△ 6.4	△ 22.9	26.2		
2022.1~3	△ 50.0	△ 19.2	△ 26.7	△ 18.5	△ 23.3	22.6	50.0	△ 29.5	△ 11.0	△ 6.9	△ 15.3	△ 22.1	20.5		
2022.4~6	△ 28.3	15.7	8.5	△ 5.9	△ 5.2	7.2	51.0	△ 20.9	△ 0.7	△ 7.9	△ 7.3	△ 22.4	25.5		
2022.7~9	△ 18.6	31.8	24.0	2.3	△ 4.7	22.5	58.9	△ 18.8	△ 1.6	△ 13.2	△ 7.8	△ 16.4	15.5		
2022.10~12	2.3														

不動産業	前年同期に比べた													
	業況	売上額	収益	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度		
2020.10~12	△ 46.2	△ 30.8	△ 23.1	△ 38.5	△ 38.5	△ 15.4	△ 15.4	△ 25.0	0.0	△ 30.8	△ 15.4	8.3		
2021.1~3	△ 42.9	△ 28.6	△ 50.0	△ 21.4	△ 35.7	△ 23.1	0.0	△ 23.1	0.0	0.0	0.0	14.3		
2021.4~6	△ 37.5	△ 25.0	△ 46.7	△ 43.8	△ 50.0	△ 12.5	0.0	△ 20.0	0.0	0.0	△ 6.3	6.3		
2021.7~9	△ 47.1	△ 47.1	△ 35.3	△ 52.9	△ 52.9	△ 11.8	6.3	△ 20.0	△ 17.6	△ 29.4	△ 5.9	△ 5.9		
2021.10~12	△ 35.7	△ 50.0	△ 42.9	△ 7.1	△ 28.6	△ 14.3	0.0	△ 21.4	△ 14.3	△ 14.3	0.0	7.1		
2022.1~3	△ 18.8	△ 6.7	△ 6.7	0.0	0.0	6.3	6.3	△ 6.3	△ 12.5	△ 6.3	0.0	△ 14.3		
2022.4~6	△ 28.6	15.4	7.7	7.1	0.0	0.0	7.1	△ 14.3	0.0	7.1	△ 7.1	△ 7.1		
2022.7~9	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0		
2022.10~12	0.0													

全業種	前年同期に比べた													
	業況	売上額	収益	売上額	収益	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度					
2018.10~12	△ 3.4	△ 10.7	△ 14.4	13.4	6.2	△ 16.8	6.9	△ 29.9	△ 8.2					
2019.01~03	△ 5.0	△ 8.2	△ 6.7	△ 7.9	△ 9.2	△ 10.9	△ 1.7	△ 32.9	△ 5.3					
2019.04~06	△ 13.2	△ 10.8	△ 10.6	△ 7.9	△ 13.7	△ 16.6	△ 7.1	△ 21.9	△ 8.6					
2019.07~09	△ 15.3	△ 7.8	△ 11.2	△ 3.7	△ 8.7	△ 18.0	△ 3.9	△ 27.5	△ 8.5					
2019.10~12	△ 14.9	△ 7.8	△ 14.7	0.3	△ 3.0	△ 18.5	0.0	△ 34.8	△ 13.2					
2020.01~03	△ 33.3	△ 34.1	△ 33.9	△ 27.5	△ 28.0	△ 20.4	△ 9.5	△ 14.9	△ 11.4					
2020.04~06	△ 72.7	△ 72.9	△ 70.8	△ 70.2	△ 68.6	△ 45.4	△ 41.3	2.6	△ 8.8					
2020.07~09	△ 50.0	△ 60.8	△ 58.9	△ 26.7	△ 28.3	△ 27.8	△ 25.9	△ 4.3	△ 8.1					
2020.10~12	△ 37.3	△ 42.5	△ 41.3	△ 14.3	△ 17.1	△ 21.7	△ 16.2	△ 15.3	△ 8.3					
2021.1~3	△ 49.0	△ 49.3	△ 46.5	△ 41.1	△ 39.3	△ 25.6	△ 17.1	△ 9.4	△ 8.4					
2021.4~6	△ 46.3	△ 27.0	△ 28.4	△ 38.1	△ 39.0	△ 18.9	△ 16.3	△ 10.0	△ 10.3					
2021.7~9	△ 42.3	△ 21.8	△ 24.5	△ 22.2	△ 26.7	△ 22.0	△ 10.7	△ 11.5	△ 10.8					
2021.10~12	△ 12.3	1.9	△ 1.9	12.7	7.3	△ 12.8	1.9	△ 16.9	△ 7.4					
2022.1~3	△ 38.0	△ 12.4	△ 22.6	△ 17.1	△ 27.1	△ 21.0	△ 7.4	△ 16.4	△ 9.7					
2022.4~6	△ 24.4	10.2	0.6	△ 6.4	△ 12.1	△ 17.5	△ 3.0	△ 17.6	△ 8.0					
2022.7~9	△ 18.0	14.1	4.2	△ 1.5	△ 6.9	△ 15.2	△ 0.2	△ 16.6	△ 9.2					
2022.10~12	△ 7.7													

全国	前年同期に比べた													
	業況	売上額	収益	資金繰り	人手									
2018.10~12	4.0	3.6	△ 1.1	△ 5.0	△ 29.9									
2019.01~03	△ 3.7	△ 1.6	△ 5.5	△ 6.4	△ 28.9									
2019.04~06	△ 3.3	△ 1.7	△ 4.7	△ 4.9	△ 27.4									
2019.07~09	△ 4.7	△ 3.5	△ 6.1	△ 6.7	△ 27.0									
2019.10~12	△ 7.8	△ 9.4	△ 11.9	△ 7.8	△ 27.4									
2020.01~03	△ 19.3	△ 20.3	△ 20.9	△ 11.3	△ 22.7									
2020.04~06	△ 56.9	△ 59.9	△ 58.9	△ 31.8	△ 2.0									
2020.07~09	△ 48.3	△ 56.1	△ 54.6											

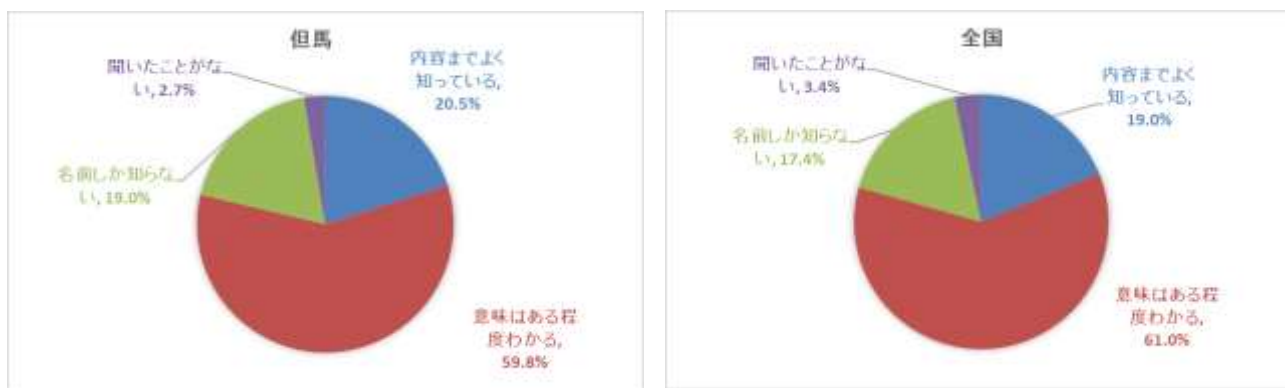
《特別調査》【中小企業におけるSDGs(持続可能な開発目標)の取組状況について】

【問1】SDGsの認知度と情報源について

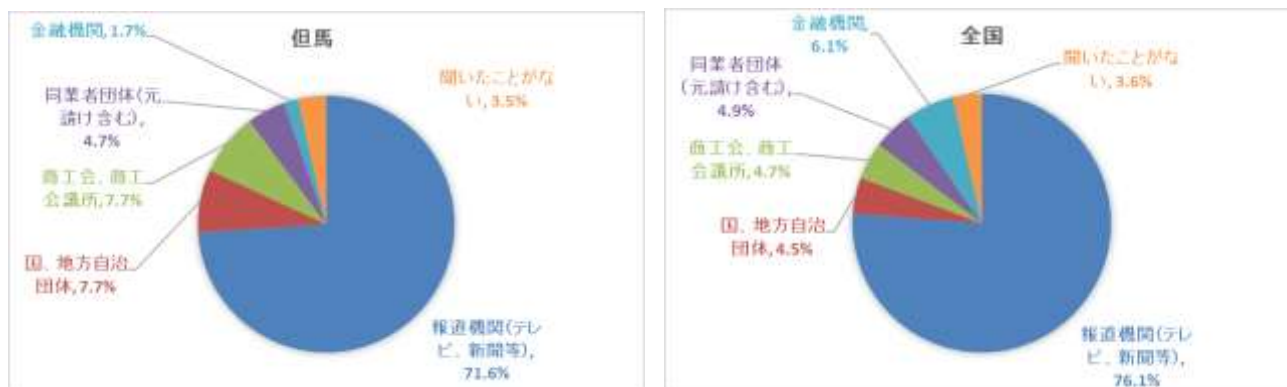
SDGsへの認知度については「内容までよく知っている」が20.5%、「意味はある程度わかる」が59.8%となり、全体で8割の企業に認知が広がっており、全国と比較して同程度の認知度であった。SDGsの情報源については「報道機関(テレビ、新聞等)」が71.6%と圧倒的に高かった。以下、「国、地方自治団体(7.7%)」、「商工会、商工会議所(7.7%)」、「同業者団体(元請含む)(4.7%)」がほぼ横一線で続いた。また但馬では情報源を「金融機関」と回答した企業は1.7%にとどまり、全国の6.1%と比較しても情報源を「金融機関」としている企業が少ない結果となった。

(図表1)SDGsについての認知度と情報源

認知度



情報源



【問2】SDGsの理念と一致する取組の実行状況について

SDGsの理念と一致する取組の実行状況については、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」が50.7%と最も多く、全国と比較しても同程度の割合であった。しかし「(省資源)再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理」、「(森林資源)ペーパーレス化、緑化・植林」、「(環境負荷)グリーン調達、カーボンオフセット、有害物質の削減」の3項目については全国と比較しても取組実績が下回る結果となった。また但馬では「取組していない」と回答する企業が33.8%と全国の22.4%を上回り、全体としてSDGsの理念と一致する取組について進んでいないことが窺える結果となった。

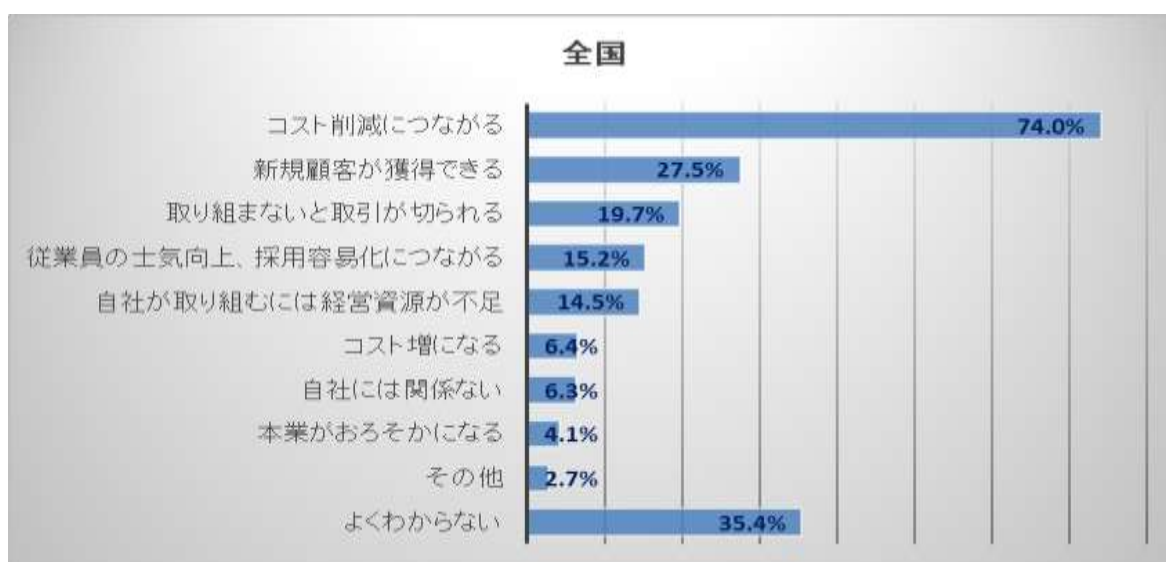
(図表2)SDGsの理念と一致する取組の実行状況



【問3】企業がSDGsに取り組むことについての印象について

但馬の企業がSDGsに取り組むことについての印象は「コスト削減につながる」が52.2%と他の項目を大きく上回った。一方で全国と比較して「新規顧客が獲得できる」、「取り組まないと取引が切られる」、「従業員の士気向上、採用容易化につながる」といったSDGsに対する取組への印象は全国と比較しても低く、企業のSDGsへの取組みが全国より進んでいないことが窺える結果となった。

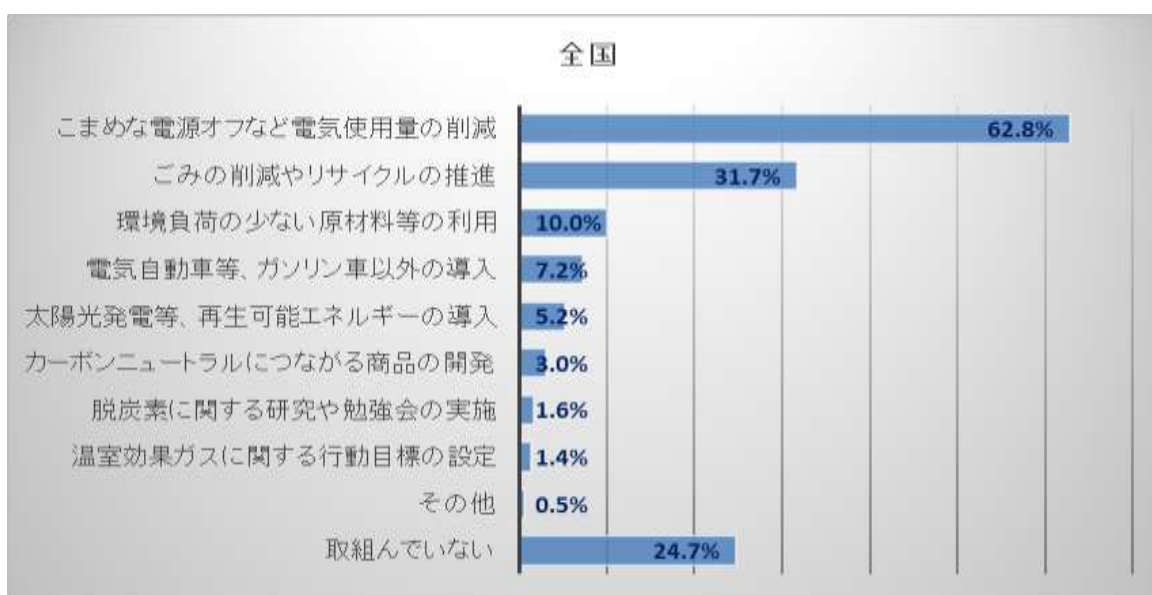
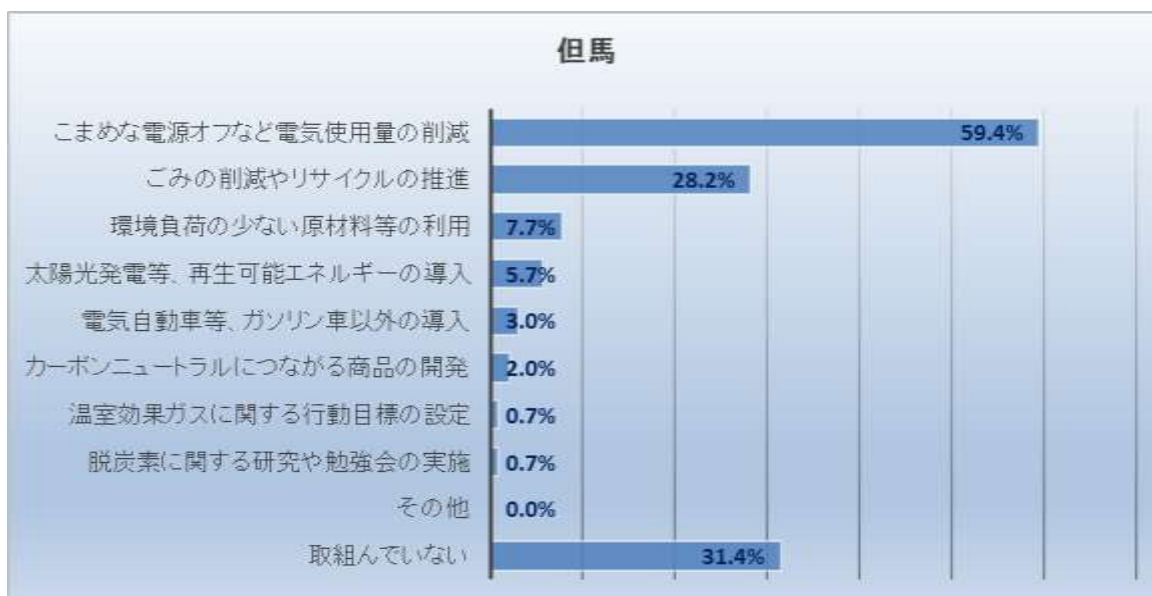
(図表3) 企業がSDGsに取り組むことについての印象



【問4】カーボンニュートラルの取組施策について

カーボンニュートラルについて取り組んでいる施策について但馬では「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」が59.4%と最も多く、以下「ごみの削減やリサイクル推進」が28.2%、「環境負荷の少ない原材料等の利用」が7.7%、「太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入」が5.7%で続いた。一方で「取り組んでいない」は31.4%と全国の24.7%を上回る結果となった。また「電気自動車等、ガソリン車以外の導入」について但馬では3.0%、全国では7.2%と全国同様低い結果となった。

(図表4)カーボンニュートラルについて取り組んでいる施策



【問5】外部機関からのサポートの期待について

SDGsについての外部機関(公的、民間問わず。)からのサポートの期待については、但馬では「省エネ対応」が27.4%と最も多く、以下「経営者向け研修」が26.6%、「従業員向け研修」が14.7%、「資金調達」が9.1%、「働き方改革などの人事制度改定」が6.9%で続いた。全国同様に幅広い分野でサポートを期待している企業の実態が浮き彫りになった。対して「利用したい支援はない」は37.6%と全国の31.4%より高く、SDGsに対して消極的な姿勢が窺えるとなった。

(図表5) SDGsについての外部機関からのサポートの期待

